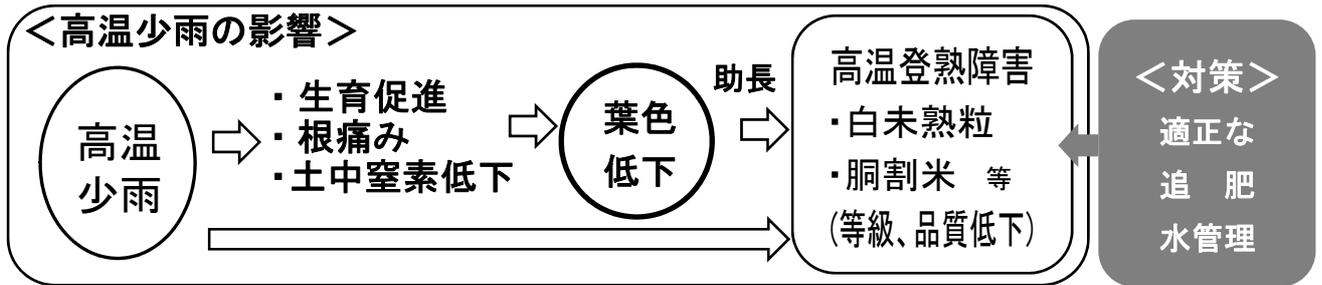


‘ひめの凜’の高温対策のための技術資料

令和6年8月16日(金)

愛媛県農林水産部農業振興局農産園芸課

県下各地で、保水力の低い水田を中心に、葉色の低下が確認されています。‘ひめの凜’はこれから出穂期を迎えますが、今後も高温が予想されるため、高温登熟障害による品質低下が懸念されます。適正な肥培管理をお願いします。



1 穂肥

基肥一発肥料施用でも、葉色の低下がみられる場合は、穂肥診断の上、追肥を検討して下さい。

葉色		追肥量 (Nkg/10a)	時期
SPAD 値	葉色板		
31 未満	4 未満	2kg 以下	出穂 12 日前まで (幼穂長6cm)

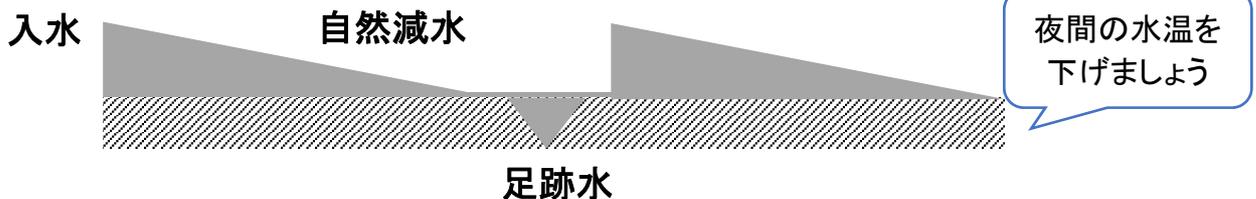
✖出穂期直前の追肥や実肥は、玄米タンパク質含量を増加させるため厳禁です✖

2 水管理

出穂開花期までは湛水管理が基本です。少雨により、用水不足となっていますが、上記以降も、湿潤気味の间断かん水を行う等、決して土を乾かしすぎないようにお願いします。

(1) 湿潤気味の间断かん水

土が常に湿った状態を保つ水管理。湛水管理と比べ、用水を節約でき、白未熟粒の発生を軽減するという報告もあります。



(2) 夜間・早朝かんがい、かけ流しかんがい

水の豊富な地域は、積極的に冷涼な用水を給水しましょう。特に夜間や早朝が効果的です。

<参考>

○県内の生育状況

- ・県内の一部地域では、5月下旬植えが出穂期を迎えております。
(予想よりも4~5日早い)。
- ・農水研ほ場では、予想通りの出穂見込みです。

松山市上難波の生育 (8/13時点、農林水産研究所)

田植日	幼穂長(cm)	出穂予想
5/22	21	8/19
6/ 3	11	8/22
6/13	1	8/28
6/22	0.4	9/ 1